

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	21
事業名	文化財調査委員会経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	5
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-2	文化のかおるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援			
主要施策	③文化財の保存・活用				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民、町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	文化財の指定を通じて町民に郷土の歴史を知ってもらい、その中で郷土愛を育み、誇りをもち、まちづくりの意識を向上させる。
事業内容	教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会に建議する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
指標	1	調査委員会の開催回数	1	1	1	回	↑	2
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B					35	35	98	
財源内訳	直接事業費 A				35	35	98	
	うち一般財源				35	35	98	
人件費 (千円) B					132	132	132	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.02	132	0.02	132	0.02	132
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	町内の文化財の把握と指定に向けた調査を行う。郷土資料館の利用増について審議を行う。	③取組の課題	調査委員会の開催回数が目標に達していない。高齢の委員が増える中、人材難である。
②R1年度に実施した取り組み	郷土資料館の開館日増、利用増について審議を行った。	④今後の改善計画	町民協働で文化財の保護、周知に努め、郷土資料館の運営の中で人材を見出せるよう努める。